

10月  
行事予定



※感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。  
(感染状況に応じて、変更する場合がございます)

# 歓喜講

今夕のご縁日



10/16 (日)  
午前11時~

寺務所にて受付中  
講金 3000円

開運招福を祈る大般若法要を執行致します。  
当日は名入りのお札とお神酒をお授け致します。

## ★落語ファンク ライブ★

落語と音楽のコラボ=落語ファンク

無料

法要終了後、大広間にて歓喜講特別イベントを開催します。感染状況によっては人数制限をする場合がございます。詳しくはHPをご覧ください。



月間行事

合同大般若法要 法要料:5000円也  
皆様と一緒に上げする御礼の法要です。  
10月25日(火) 午前11時

法要のライブ配信



要予約行事

朝まいり会 10月1日~7日 午前8時~8時半  
会費:500円也  
ご参加の皆様と一緒に勤めを行ないます。  
毎月1日から7日(正月は8日から14日まで)

ライブ配信



写経の会 10月8日、9日(土、日) 午前10時  
会費:500円也  
第2日曜日とその前日の土曜日の計2日、それぞれ午前10時の開催となります。

坐禅の会 10月22日(土) 午前9時半~10時半  
会費:500円也

予約は毎月15日より **080-7419-1297** まで。

※感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。(感染状況に応じて、変更する場合がございます)

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。  
ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。



# いちよう

2022年10月号

令和4年9月20日発行/No.358

発行所: 待乳山本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1  
☎ 03-3874-2030

## 「修業と修行」

本堂部長 杉本真海

当山では聖天様とのご縁をより深めていただくために、座禅や写経、朝まいり会などの行事に参加されることをお勧めしております。

これらの行事は誰にでも挑戦できるシンプルな内容です。そのシンプルさがかえって奥深い「修行」の心持ちを学ぶのに適したものです。ただ単にお寺体験のイベントとしてではなく、仏道修行としてご参加されることで、より大きなご利益を頂けると思っています。

仏道修行は僧侶にとっては非常に大事な事があります。当山の僧侶は全員比叡山の修行道場で一定期間修行を行っております。一般の方が僧侶と同じ環境で修行を行うことはなかなかできませんが、「修行の心持ち」だけでも学ぶことは仏様に向き合う上でとても有意義です。

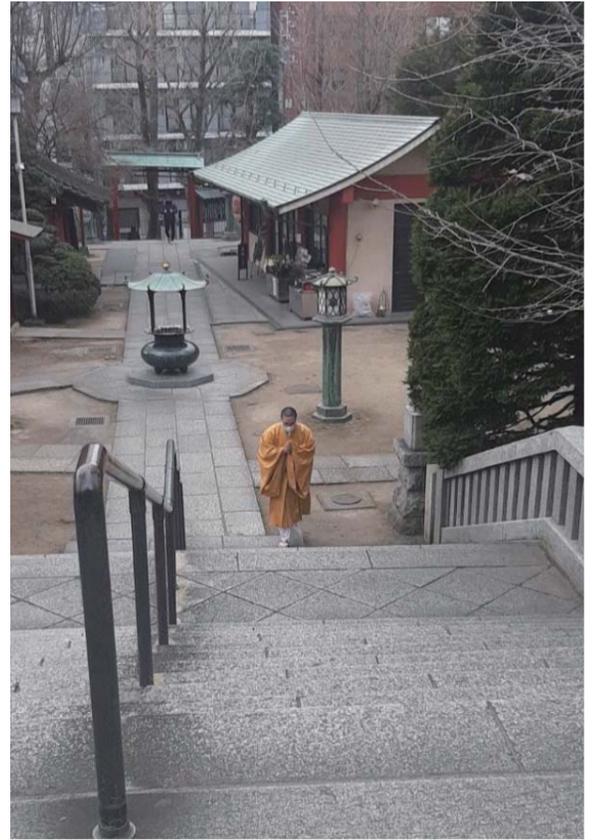
「修行」とは悟りを目指して心身を浄化する目的で行うものです。上手い下手といった優劣をつけることではなく、純粹に悟りを目指すもので、ゴールはありません。なにより継続をすることがとても大事です。

「修行」とは別に「修業」という言葉があります。この言葉は、「業を修める」と字のごとく、技術や学問を会得するために行うものでありまして、一定の水準を得ることを目指して行うものです。

この目的が違う二つの「しゅぎょう」ですが、心持ち次第で日常生活は「修業」も含めてすべて「修行」に成り得ます。

「修業」によって技術や知識を習得することのみで満足せず、常に上を目指して「修行」の心持ちですべての物事に向き合うことで、結果的に社会的な成果だけでなく、さらには神仏のご加護をいただき双方の結果として表れてくるでしょう。

当山で「修行」を実践してその心持ちを学び、日常の「修業」を含めたあらゆる事柄を「修行」に昇華させてみてはいかがでしょうか。



# 「人間関係成就」

ここ数年のSNSの普及により四六時中人と繋がっていることが多くなりました。それとは逆に直接向き合って会話する事は少なくなりました。その結果、人との関係が近すぎたり、遠すぎたりして、距離感がわからないことが多くなりました。そのため最近は人間関係を良好にしたいと願う信者さんからの相談を多く受けます。

もちろんいつの時代も人間関係というものに一喜一憂するものです。人との関係が悪くなるのは、お互いの思いや考え方などの食い違いから、こじれが生じて悪化していくようです。

人は目に見えるものがすべてと思いがちですが、人には『思い=心』があるのです。原因はお互いの思いのすれ違いですので、これを切り抜ける方法の一つとして、まずは関係を良好にしたい相手の心を考えてみましょう。考えるといっても霊能力や超能力は必要ありません。自分の思いや考えは一旦横に置いて、相手の思いや考えをほんの少しでいいので理解する（心を考える）よう努めてみましょう。

他人の思いや考え、行動を変えることは、よほどのことがないと難しい事です。ですが自分が相手の気持ちを理解すれば、ほんの一部でも通ずる部分があるかもしれません。

昔から「以心伝心」という言葉があるように、本当に心が通じ合うこともあります。これは家族や友人だけでなく、全くの他人でも上下の関係や年代性別のなどの違いも関係ありません。様々な状況で適応すると考えます。

さりとして、これらを行っても関係が好転しないこともあるかもしれません。ですが他人の気持ちを思いやること、次の人間関係への新たな手掛かりとなり、ご自身が成長していることは間違いありません。



## ～扁額（へんがく）～

建築物の入口や内に掲げる額を扁額といいます。寺社をはじめとする伝統建築に用いられることが多く、額に記す文字も特に決まりがなく、建物名やそこに祀られている神仏を記すことが多くみられます。

おもに住職や書家などによって書かれていて、各額によって書体の違いや額の形に特徴があり好みはそれぞれかと思えます。

当山には現在、本堂の「聖天宮」や洗心閣の「待乳山」、神楽殿には「舞殿額堂」などの額が掲げております。

当山に限らず寺社を参拝の際には、いつもより少し視線を上げて、自分好みの額を探してみたいはいかがでしょうか？



## ◀ 行事報告 ▶

### 「灯明講 報告」

お盆が過ぎ、夏の暑さが少し和らぎはじめた8月20日(土) 灯明講を執行いたしました。ご信徒の皆様には本堂前特設テントにて講中にご参加いただき、法要終了後には内陣にてご焼香いただき聖天様とのご縁を深めていただきました。毎月20日のご縁日としてにぎやかな光景が少し戻ってきた様子でした。



### 「朝まいる会正五九法要 報告」

9月7日(水) 朝まいる会会員の皆様を対象とした正五九大般若法要を執行いたしました。近年、新規の会員の方が増えつつある朝まいる会です。伝統ある朝まいる会にご興味、関心のある方はこの機会に入会を検討してみたいはいかがでしょうか？



### 「子供会 報告」

8/28(日) 聖天町会にお住まいのお子様を対象に当山大広間にて子供会を開催しました。

坐禅・お参り作法・柳家千寿師匠による子供向け落語、またレクリエーションとして革製品を使った小銭入れやブレスレット作成を行いました。子供たちははじめの頃は少し緊張する様子も見られましたが、徐々にみんな打ち解けはじめ、最後のビンゴ大会は大賑わいとなりました。聖天様で修行をして、楽しくあそび夏休みの思い出となったことでしょう。

千寿師匠ならびにお手伝い賜りました聖天町会の役員の皆様、ご協力頂きありがとうございました。

来年はご信徒の皆様のお子様お孫様もご参加いただけるようにしたいと考えております。

